

## 1. 第3次長期計画・第5期福祉計画の基本的な考え方

### ① 重点的に取り組む事項を軸とした体系的な計画にします

第2次長期計画策定後の寝屋川市における障害者支援をとりまく状況の変化をふまえ、重点的に取り組む事項を軸として、効果的に展開するための体系的な指針を設定します。

（「2. 重点的に取り組む事項」を参照）

### ② 長期計画と福祉計画をいっそう連動させます

第2次計画策定度のこの間の取り組みの経験を活かして長期計画と福祉計画の連動性をさらに高め、障害者支援全体の効果的なPDC Aサイクルを構築します。

**長期計画**：中長期的な視点に立ち、6年間の障害者支援の体系と目標、ポイントとなる事項などを示します



**福祉計画**：長期計画の目標やポイントを実現するため、3年間の取り組みの目標【成果目標】と内容【活動指標】を定めます。



**福祉計画推進シート**：福祉計画の【成果目標】・【活動指標】に沿って年度ごとに実施する事項を定め、実施状況の点検・評価を行い、次年度の計画に反映します。

### ③ 他分野との連携や公民の協働をいっそう推進します

「地域共生社会（我が事・丸ごと）」の考え方をふまえて、地域福祉計画、健康福祉の分野別計画、地域福祉活動計画等との連動性をさらに高め、他分野との連携や公民の多様な主体の協働による効果的な障害者支援を推進します。

・分野を超えた共生型サービスや地域包括ケア、権利擁護、防災、まちづくり等の取り組みを、地域福祉計画や分野別計画と連動して推進します。

・ニーズや課題の発見・解決、防災・まちづくり・共生社会づくり等における地域との協働を、地域福祉計画や地域福祉活動計画（社会福祉協議会が策定）と連動して推進します。

## 2. 重点的に取り組む事項（現時点での仮説）

### ① 多様なニーズに対応した地域生活を支援するサービス等の充実

#### 【特に重視するポイント】

- ・ 重度・医療的ケア、制度の挟間、地域移行・ひとり暮らし・親亡き後などへの対応
- ・ 保健・医療との連携の充実

### ② ニーズを的確に発見し、支援につなぐしくみの充実

#### 【特に重視するポイント】

- ・ 当事者や地域の気づきと相談や支援へのつなぎ、体系的な相談支援の充実
- ・ 多様なニーズに対応するサービスの開発や施策化などの推進

### ③ ライフステージを通じた発達支援の充実

#### 【特に重視するポイント】

- ・ 子ども・子育て支援、担い手の多様化、ニーズの多様化のなかでの療育体制の再構築
- ・ 就学前・学齢期・学卒後を通じた取り組みの推進

### ④ ニーズに応じた就労・社会参加支援の充実

#### 【特に重視するポイント】

- ・ 一般就労・福祉的就労・日中活動などの場づくりと、就労への支援の充実
- ・ 余暇活動や社会活動などの参加の推進

### ⑤ 共生社会づくりと権利擁護の推進

#### 【特に重視するポイント】

- ・ 障害についての理解と支えあい、合理的配慮やユニバーサルデザインの推進
- ・ 権利侵害や虐待の防止、日常生活での権利擁護の充実

### ⑥ 安全・安心な生活のための支援の推進

#### 【特に重視するポイント】

- ・ 災害への備えや支援体制づくり、犯罪や事故などからの安全の確保

### ⑦ 障害者支援のネットワークと担い手づくり

#### 【特に重視するポイント】

- ・ 計画推進委員会と自立支援協議会を軸とした支援のネットワークの充実
- ・ 他分野との連携・公民の協働による地域包括ケア（地域共生社会）の推進
- ・ 障害者を支援するサービスや活動の担い手づくり

### 3. ニーズ調査で把握したいこと

#### ① 重点的に取り組む事項に関するニーズと課題

- ・現状と今後の希望に基づく新たなニーズ
  - ・現状および今後の希望を実現するうえでの課題
- (※) 障害の種別や程度によってどのような違いがあるかを把握

#### ② 特に重視するポイントについてのニーズと課題

- ・権利擁護（差別解消・虐待）や災害時支援などに関する現状と課題
- ・「親亡き後」や緊急対応、介護者支援などに関するニーズと課題 など

#### ③ 生活全体での課題・不安と障害者支援の優先度についての意識

- ・障害者支援に関する意見や要望（記述回答）
- ・障害者支援として優先的に取り組むべきこと

### 4. 調査の実施方法

#### ① 調査の対象

- ・長期計画（障害者支援全般）と福祉計画（障害福祉サービス等）のニーズを把握するため、以下の人を対象として実施します。
- 障害福祉サービス等の支給決定者（約2,300人）
- 上記以外の身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者（約2,200人を抽出）

#### ② 調査の方法

- ・郵便で配付・回収を行う自記式質問紙法（アンケート方式）で実施します。
- ・回答される方の負担を考え、調査票は10～12ページ程度（40問程度）とします。
- ・調査票にはルビを振るとともに、自力で記入することが難しい方には介護者・支援者等にご本人の意向をふまえて記入していただくよう依頼します。

#### ③ 調査の実施時期

- ・第37回推進委員会（本日）でのご意見をふまえて調査票を作成し、2月中に発送します。
- ・回答の締切は発送から2週間程度とし、締切後も一定期間内に到着したものは有効として集計に加えます。

## 5. 調査項目

① 基本的事項について → クロス集計を行い、状況によるニーズの違いを把握します。

- ・問1 調査票の記入者
- ・問2 性別・年齢は
- ・問3 障害の種類
- ・問4 もっとも主な障害
- ・問5 障害を受けた（気づいた）時期
- ・問6 医療的ケアの状況
- ・問7 障害者手帳の取得状況（等級・判定）
- ・問8 特定疾患医療受給者証の取得状況
- ・問9 障害支援区分の認定状況（区分）
- ・問10 要介護認定（介護保険）の状況（要介護度）

② 生活支援について

- ・問11 介護や支援が必要なこと
- ・問12 介護や支援で困っていること（介護・支援が必要な人のみ）
- ・問13 介護者・支援者の高齢化への対応（介護・支援が必要な人のみ）
- ・問14 住まい方の状況と今後・将来の希望
- ・問15 ひとり暮らしをする場合に困ること

③ 保健・医療について

- ・問16 健康診断の受診状況
- ・問17 医療機関の受診状況
- ・問18 健康や医療に関して困っていること

④ 情報・相談について

- ・問19 生活に関する情報の取得
- ・問20 相談できる人
- ・問21 相談したいこと
- ・問22 「サポート手帳」の利用状況

⑤ 福祉サービス等について

- ・問23 介護・生活支援サービス（障害・介護保険等）の利用状況
- ・問24 サービスの利用で困っていること
- ・問25 今後利用したいサービス

⑥ 地域とのつながりや支援について

- ・問26 近所づきあいの状況
- ・問27 地域の人との交流や支援の希望

⑦ 発達支援について

- ・問28 療育・教育の状況
- ・問29 療育・教育で困っていること

⑧ 就労・社会参加の支援について

- ・問30 就労（福祉的就労等を含む）の状況と今後・将来の希望
- ・問31 就労で困っていること
- ・問32 文化・スポーツ・社会活動等の参加状況・今後の希望
- ・問33 社会参加で困っていること
- ・問34 外出で困っていること

⑨ 災害時の支援について

- ・問35 地震などの災害時に困ること
- ・問36 「避難行動要支援者登録」の利用状況
- ・問37 「救急医療情報キット」の利用状況

⑩ 権利擁護について

- ・問38 障害に関する差別や嫌な思いの経験
- ・問39 差別や嫌な思いをする場面（差別や嫌な思いのある人のみ）
- ・問40 成年後見制度の利用

⑪ 障害者支援全般について

- ・問41 障害者支援として優先的に取り組むべきこと
- ・問42 障害者支援についての意見（記述回答）